

## 【学生による ESD 活動支援】

### 春日山原始林をフィールドとした ESD 実践 活動報告書

特別支援教育専修 2 回生 山中 彩加

1. 企画名 「自然を楽しもう 春日山自然学校プロジェクト 2020・秋  
親子で楽しむネイチャーゲーム」
2. 日時 2020 年 10 月 11 日（日）10 時～12 時 30 分
3. 場所 春日山原始林
4. 講師 奈良県シェアリングネイチャー協会
5. 参加学生 社会教育専修 2 回生 岡本 真実  
特別支援教育専修 2 回生 山中 彩加

#### 6. 概要

春日山原始林で自然を楽しむネイチャーゲームを親子で体験し、原始林の自然と親しむ。

#### 7. 活動を通じた学び

ESD に関わる活動支援として、「自然を楽しもう 春日山自然学校プロジェクト 2020・秋 親子で楽しむネイチャーゲーム」にスタッフとして参加した。私が今回のネイチャーゲームを通して学んだことを、以下の 3 点述べたい。第 1 にゲームを通して自然の良さへの気付きについて、第 2 に複数の視点から考えることで深まる学びについて、第 3 にコロナウイルス感染症への配慮についてである。

第 1 のゲームを通して自然の良さへの気付きについてである。今回のネイチャーゲームでは、見るだけでなく耳をすませたり自然の匂いを感じたり、感触など、様々なゲームを通して自然の中を歩き、楽しさや自然の良さに気付くことができると分かった。

第 2 の複数の視点から考えることで深まる学びについてである。複数の視点から考えることで、普段の生活では着目しないような視点から自然を感じることができると考える。例えば、今回のネイチャーゲームではフィールドビンゴを行ったが、その項目の中には「両手で抱えられない木」や「苔が生えている木」のように、木だけでも複数の項目があり、複数の視点を取り入れることで、「この木はとても大きいけどあの木は…」や「この木の下にある植物は何だろう」といったように、子どもたちの中でさらに視点が広まっていくと考えられる。

第 3 のコロナウイルス感染症への配慮についてである。コロナウイルスの影響で様々なイベントの開催が取りやめられている中、今回のイベントでは、野外での活動にすることや、子ども 1 人もしくは親子で達成できる比較的簡単なゲーム内容にすることで、子どもたちも取り組みやすく、また接触を避けながら活動を楽しむことができるといったことが分かった。

今回の活動を通して、主にこのような 3 点のことを学ぶことができた。学んだことを今後の活動にも生かしていきたい。



ネイチャーゲームの様子